

“自分で耐震診断ができる本”とは！

東日本大震災が発生してから3年が経過し、東京直下型地震や東南海地震などが心配されています。地震は何時来るか分からないから、新築住宅はともかく、古い住宅の耐震対策は難しいと思われていませんか？ 専門家に依頼しなければ判らないし、診断費用がどれ位か、改修方法はどうするのか、改修期間はどれ位なのか、改修費用がどれ位かかき、その効果はどうか？ 何もわからず、ただ心配しているだけ、という人が多いのではないのでしょうか。当社が十数年来のお付き合いをいただいている、既存建物耐震補強研究会の保坂貴司代表が「自分で耐震診断ができる本(木造住宅編)」を刊行されました。保坂代表は常々「金物をつけるだけの耐震補強はダメだ。土台や柱が腐っていたら金物の強度が生かされない。地盤から基礎、そして構造体と全体的に診断して改修しなければ意味がない。住宅をリフォームする際にしっかりと調査すべきだ」と言われています。今回刊行された本では、基礎的なことを素人でもわかる簡単な点検項目でチェックし、家の状態をその合計点で判断し、専門家に依頼すべきか決められるようになっています。①木造の構造について25問、②地盤や家具の固定等で20問、各100点満点で判断します。

例えば、問10、あなたのお家はどこに該当しますか？という質問で、次の回答から家の状態を選びます。●住宅の四方、それぞれの外壁の長さの1/3以上が壁である(得点4) ●同じく1/4以上が壁である(得点3) ●同じく1/6以上が壁である(得点2) ●小窓が連続し、壁が無い。ただし、窓の上下には壁がある(得点1) ●窓や出入口だけで壁が無い(得点0) このような簡単な質問に詳しい解説があり、それを確認しながら自分の家の得点を合計して安全性を確認する方法です。もちろん、この方法は目安としての診断でありますから、必要なら専門家に依頼しなければならないでしょう。ただ闇雲に「恐怖心をあおる」ような悪徳業者に騙されない為の基礎的な知識ともなるでしょう。興味のある方、ご心配な方はお問い合わせください。チェック項目の説明をいたします。また、本やDVD、既存建物耐震補強研究会もご紹介いたします。

(既存建物耐震補強研究会は今年4月から一般社団法人耐震研究会と組織変更しました。一般向けの勉強会も開催しています。)

【情報】

平成26年県工業技術センター年度研究成果発表会
炭酸ガスレーザー加工技術を用いた「パズルカヌー」の開発
木造建築物の構造強度性能に関する技術支援事例
等が展示発表されます。

日時 H26年7月17日(木)PM1:15~4:10

場所 鹿児島県工業技術センター 大会議室

申込先 工技センター企画支援部 Fax0995-64-2111

【定休日】

7月は5, 6, 12, 13, 20, 26, 27日となります

8月は3, 13, 14, 15, 16, 17, 24, 30, 31日となります

宜しく申し上げます。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)